



ホームラン ニュース

<http://www.funabashi-gakudou-baseball.jp/>

発行: 船橋市野球協会少年学童部

責任者: 理事長 河崎 六郎

編集: 広報部

習志野台ワンパクス 夏季大会四連覇

前週の雨で順延となった「船橋市少年学童野球選手権大会」は、9月6日高瀬グラウンドに場所を移し、習志野台スターズと習志野台ワンパクスによる熱戦が繰り広げられました。試合は逆転に次ぐ逆転の接戦となりましたが、6回にダメ押しの1点を加えたワンパクスが、4対2で大会四連覇を飾りました。

「夏季大会の思い出」

習志野台ワンパクス 林崎 祐樹

決勝戦では、2番の菅谷が同点タイムリーを打ってくれたので、僕も何とか繋げようと思いました。結果、勝ち越しのタイムリーを打つことができ、チームの勝利に貢献できてとても嬉しかったです。

次の大会も、チームみんなで優勝目指して頑張ります。

「夏季大会に出場して」

習志野台ワンパクス 諸隈 惟大

ワンパクスは夏季大会で3年連続優勝していて、先輩達に続く事が出来てほっとしました。

守備をたくさん練習してきたので、試合ではミスが少なくなりました。

ピッチングは、コントロールが安定しないところがあったので自分の役割をしっかりやるように、毎日トレーニングをやって、ろうきん杯、船橋秋季大会やほかの大会でも全部優勝を目指して頑張ります。

「夏季大会の思い出」

習志野台ワンパクス 増田 成

4年連続優勝をかけた今大会、最初は緊張していましたが、開会式、初戦となるにつれて、緊張がほどけていき、勝つにつれて、みんなの気持ちも高まってきました。

そして決勝戦。苦戦しましたが、勝つことが出来て、嬉しかったです。

この大会で、勝ち取ることが出来た、ろうきん旗の優勝を目指して、これからも頑張ります。



千葉なのはなガールズ 堂々の第三位

8月11日から6日間の日程で行われた、「NPBガールズトーナメント2014 supported by 知の翼」に参加した、船橋市の選手を中心とした女子野球チーム、千葉なのはなガールズは、激戦を勝ち抜き、三位となりました。



決勝戦は船橋ダービー

千葉県少年野球大会(千葉日報杯)

8月23日に成田市中台公園野球場で行われた「千葉県少年野球大会(千葉日報杯争奪戦)」の決勝戦は、夏見台アタックスと薬田台リトルスターの船橋勢同士の対戦となり、接戦を制した夏見台アタックスが、優勝の栄冠に輝きました。

西船ウイングス初優勝 船橋市少年学童野球低学年大会

9月6日に宮本ビーバースと西船ウイングスとの間で決勝戦が行われた「船橋市少年学童野球低学年大会」は、西船ウイングスの初優勝で幕を閉じました。1回の裏にビーバースに先制を許したウイングスは、3回に廻ってきたチャンスを生かして逆転に成功、この逆転で波に乗ったウイングスは、その後も小刻みに追加点を加えて、5対1で低学年大会初優勝を果たしました。

西船ウイングス 黒須 堅心

今大会は、みんなでゆう勝するぞという気持ちでいどみました。初戦から強ごう相手でしたが、チーム一丸となって戦い、決勝まで進みました。

決勝では一つのプレーで流れが変わり、勝敗を分けることになりました。初めてのゆう勝はとてうれしかったです。昨年までの全ての大会でじゅんゆう勝。「シルバーコレクター」と言われたこともあるぼくたちが初めてゆう勝できたのは、コーチ、家族、そしていつも遠くまで応援に来てくれるおじいさん、おばあさんが支えてくれたからだと思います。

県大会でもゆう勝して、金メダルをとります。



習志野台ワンパクス 両リーグアベック優勝

船橋市春季市民野球大会 少年学童の部

4月6日に開幕した「船橋市春季市民野球大会 少年学童の部(春季大会)」は、Aリーグ33チーム、Bリーグ30チームが参加し、約1ヶ月間にわたり熱戦が繰り広げられました。

Bリーグ決勝戦は5月5日運動公園野球場で行われ、昨年の低学年大会で優勝したFTJを破った習志野台ワンパクスと、前原サンライズをサヨナラで退けた、海神スパローズの対戦となりました。

1回海神スパローズが先制するも、習志野台ワンパクスが4回に2点を取って逆転に成功、さらに5回にも2点を追加し、試合の流れをつかむと、その後の2回をしっかりと抑え、2年ぶり4回目の優勝を決めました。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
スパローズ	1	0	0	0	0	0	0	1
ワンパクス	0	0	0	2	2	0	X	4

続いて行われた、習志野台ワンパクスと夏見台アタックスのAリーグ決勝戦は、決勝と呼ぶにふさわしい好ゲームとなりました。

初回、夏見台アタックスのエース木村くんが三者凡退で素晴らしい立ち上がりを見せると、習志野台ワンパクスのエース北村くんも

負けじと三者凡退で迎え、両エースの好投で熱戦の火ぶたが切って落とされました。

両エースとも3回まで1安打と好投を続け、迎えた5回に、9番中泉くんのセンターへのタイムリーヒットで1点を先制したワンパクスは、北村くんによってマウンドに上がった諸隅くんが4回以降打者11人に対し、被安打0のパーフェクトリリーフを見せ、1対0の僅差で勝利し、6年ぶり5回目の優勝を飾りました。

Aリーグで優勝した習志野台ワンパクスは5月に行われた全日本学童軟式野球大会千葉県予選に出場し、見事に優勝を決め、8月8日から行われた全国大会の出場権を手にし、全国三位となりました。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
ワンパクス	0	0	0	0	1	0	0	1
アタックス	0	0	0	0	0	0	0	0

また、夏見台アタックス、習志野サンデース、薬台リトルスター、ホワイトビーストロン

グの4チームが、8月に行われた千葉県少年野球大会(千葉日報杯)へ出場しました。



習志野台ワンパクス 全国三位の快挙

高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント

「船橋市春季市民野球大会 少年学童部」「全日本学童野球 千葉県大会」を見事に勝ち抜いた、習志野台ワンパクスが、「高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント」に出場し、全国三位の快挙を達成しました。

「広報部の一押し」では、大会を前にした習志野台ワンパクス 主将の菅谷 真之介くんのコメントを掲載します。

「汗と涙、そして感動」

習志野台ワンパクス 菅谷 真之介

「おちろ!」と心の中で思った。5回表、待ちに待った待望の1点、先取点を取りました。その1点をチームのみんなで、気持ちを一つにして守り、最後の打球をキャッチした瞬間、船橋で優勝したと最高の喜びを感じました。

胸を張り、県大会に出場しました。今まで、全国大会出場を目標に、チームメイトの気持ちを一つにし、監督、コーチとの汗と涙の猛練習をしてきました。組み合わせが決まり、一番最後まで残るぞ!! 目指せ神宮を合い言葉に、一戦一戦を戦いました。

ぼくは、チームの主将として、チームをまとめ、引っ張る立場でありながらその仕事がかたく出来ませんでした。チームメイトの協力もあり、最高のチーム、メンバーと野

球が出来、目標、夢でもある全国大会に出場する事が出来ました。

レベルの高い船橋の代表として、胸を張り、今まで頑張ってきた事を自信として、全国大会でも、チームの売りである守備力で、一戦一戦勝ち進み。最後まで残れるように頑張ります。



大会成績

春季大会(Aリーグ)

- 優勝 習志野台ワンパクス
- 準優勝 夏見台アタックス
- 第三位 海神スパローズ
- 薬台リトルスター

春季大会(Bリーグ)

- 優勝 習志野台ワンパクス
- 準優勝 海神スパローズ
- 第三位 FTJ
- 前原サンライズ

少年学童野球選手権大会(夏季大会)

- 優勝 習志野台ワンパクス
- 準優勝 習志野台スターズ
- 第三位 高郷スターズ
- 薬台リトルスター

低学年大会

- 優勝 西船ウイングス
- 準優勝 宮本ビーバース
- 第三位 法典コンドル
- 習志野台赤トンボ

～ 編集後記 ～

学童部の広報に所属して、初めてのホームランニュースの編集となります。多くの皆さんに読んで頂ける広報誌を目指して頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。(広報部)